

# I F A U-6 ユースキッズフェスティバル IN 中央高校

(ユースキッズリーダー；中央高校サッカー部)

2018年2月25日(日)に、中央高校で「I F A U-6 ユースキッズフェスティバル IN 中央高校」を開催いたしました。今回のフェスティバルは中央高校サッカー部1・2年生48名が、参加キッズ(6歳以下の未就学児)54名を対象に「高校生のお兄ちゃん」一人に対して1名、もしくは2名のペアをつかってウォーミングアップから最後のゲームまで一緒に活動しました。

中央高校の生徒は昨年に引き続いてのユースキッズフェスの開催で、1年生も事前研修として座学の講義と実技をそれぞれ1.5時間ずつおこない「キッズリーダー養成講習会」を受講いただき、キッズ年代の特徴やその年代の特徴を生かした声掛け、トレーニングなどを学んでいただきました。(2年生は昨年受講済み)

キッズの受付がそれぞれ終わると早速、「お兄ちゃん」たちと鬼ごっこをしたり、ゴールにシュートをしたり楽しんでいました。全員で鬼ごっこなどのウォーミングアップが終わると「シュート」「ボールフィーリング」「動きづくり」のセッションにわかれていきました。シュートでは高校生のドリブルからのキックを真似したり、高校生たちが守るゴールに向かってシュートをしたり、真剣勝負もみられました。ボールフィーリングでは高校生が教える「ちょっと」難しい技に挑戦したり、ときにはあきらめてしまうキッズもいましたが、高校生たちと遊ぶこと自体を楽しんでいるようでした。最後は各ペアで合同になり、3対3や5対5のミニゲームを行いました。自信なげにゴール前に立っているキッズに対して「よし、お兄ちゃんがゴールを守るからボールに触っておいて」と送り出すと勢いよくボールに走り出すキッズがいたり、ドリブルを始めると高校生に果敢に向かっていくキッズもいたりしました。



最後はハイタッチでお別れでした。お別れした後もよほど交流が楽しかったのか、高校生と写真を撮ったり、また、ボールを持ってきてキックしたりする姿もみられました。



文責；茨城県サッカー協会キッズ委員会 堀之内寛（鹿島アントラーズ）